

はなおか栄太郎

市政報告

Vol. 6



令和6年6月定例議会 一般質問(抜粋)

■質問項目

- ①都市計画道路下中野平井線等の幹線道路整備について
- ②内水氾濫対策について
- ③キャッシュレスでの公金納付について

都市計画道路下中野平井線等の幹線道路整備について



写真はイメージです。実際とは異なる部分があります。

Q 下中野平井線(旭川区)の早期開通に向けての
お考え方は。

A 【市長】

現在、約98%の用地を取得しており、橋梁の下部工が概ね完成しているところであります。今後、2020年代の完成を目指し、残りの用地取得を進めるとともに、ランプや上部工、取付道路等の工事を順次進めることとしており、今年度はランプの下部工の工事を予定しているところであります。来年度以降は、上部工の工事に着手することとしていますが、多額の費用が必要となるため、しっかりと財源確保に努めながら、出来る限り早期に開通するよう取り組んでまいりたいと思っております。

Q 岡南大橋東詰の混雑解消に向けての交通シミュレーションの結果と今後の道路整備予定について。

A 【都市整備局長】

交通シミュレーションを実施するにあたり、江並南交差点において、東向き左折、東向き右折、南向きの右折をそれぞれ1車線追加するなどし、また、江並西交差点において、東向きの直進を2車線、西向きの直進を1車線追加したところ、江並西交差点を起点とする東向きの渋滞は概ね解消し、江並交差点から江並南交差点付近で発生していた渋滞も改善することが確認できました。この結果を受け、今年度は詳細設計を実施し、来年度以降は工事へと進めてまいりたいと考えております。



渋滞解消が期待される岡南大橋東詰

Q 岡南大橋へ進入しようとする自動車が江並南交差点の混雑を避けるために、江並交差点より近隣の生活道路に進入して混雑を起こしているとお声をお聞きしていますが、この道路整備によって混雑解消につながるのか。

A 【都市整備局長】

議員ご指摘のとおり、岡南大橋東詰の交差点の渋滞によって周辺の生活道路への自動車の流入が多いということは認識しておりまして、交通シミュレーションによって道路整備後は幹線道路の渋滞がおおむね解消することが確認出来ていることから、道路整備後は周辺の生活道路への自動車の流入は減少するものと考えております。

▼岡山市の幹線道路の網図



Q 外環状線の市道江並升田線の進捗状況は。

A 【都市整備局長】

外環状線の一部として整備している市道江並升田線については、現在、中区江並から中区桑野間で事業を進めており、進捗状況については約7%の用地を取得しているところです。引き続き用地取得等を進め、早期の開通を目指してまいります。

Q 主要地方道岡山牛窓線(3工区)は事業費ベースの進捗状況は昨年度末で約84%となっているが、暫定開通など今後のスケジュールは。

A 【都市整備局長】

今後、出来る限り早期に開通するよう残りの用地取得に努めるとともに、ボックスカルバート工事、舗装工事などを順次進めることとしております。



Q 主要地方道岡山赤穂線(中井～穴甘)の進捗状況と今後の施工予定は。

A 【都市整備局長】

現在、新幹線及び在来線のアンダーパス工事を進めているところであり、事業費ベースの進捗率は昨年度末で約41%となっております。今後はアンダーパス工事完成後、取付道路や穴甘交差点の改良などを行い、まずは穴甘交差点から県道東岡山御津線までの区間の早期開通を目指してまいります。また、並行して中井側からの用地買収も進めるとともに、今年度は中区国府市場から中区土田間の測量や予備設計などを実施することとしております。

内水氾濫対策について

Q ゲート遠隔操作は人的操作が必要ですが、今後水位計等の設定値に対して行われる自動的な開閉操作等の自動化についてのお考えは。

A 【下水道河川局長】

議員ご提案の水位等による自動開閉操作については、開閉時の安全確保等の課題もございますが、操作する職員の負担軽減とさらに速やかなゲートの開閉につながると考えております。そうしたことから、具体的な検討について進めてまいりたいと考えております。

令和6年2月定例議会 一般質問(抜粋)

■質問項目 ①災害備蓄について ②避難所のトイレについて ③技術職員の採用について

災害備蓄について

Q 従来から計画をされておりました中区集中備蓄倉庫についての状況は。

A 【危機管理監】

中区集中備蓄倉庫については、公共用地での整備を前提として候補地の選定を進めており、来年度に測量や設計などを行いたいと考えております。

また一つ
地域の声 **カタチ** になりました

平井地区

雨水排水対策として
側溝を整備



旭東地区

安全対策として
路面表示を追加



操明地区

子どもたちの安全対策
通学路に転落防止柵を設置



樋門遠隔操作化

昨年度末に東高前樋門の遠隔操作が可能になりました。これによりゲリラ豪雨などに迅速に対応でき、祇園用水の水位を低下させることで、浸水被害軽減の効果が期待されます。



関連道路整備令和6年度事業費

都市計画道路下中野平井線(旭川工区)	約350,000千円
市道江並升田線	約200,000千円
主要地方道岡山牛窓線(3工区)	約100,000千円
主要地方道岡山赤穂線	約2,100,000千円